

(51)Int.Cl?
 A 6 1 M 25/00
 A 6 1 B 18/12
 A 6 1 N 1/40

識別記号

F I
 A 6 1 N 1/40
 A 6 1 M 25/00
 A 6 1 B 17/39

テマコード(参考)
 4 C 0 5 3
 4 C 0 6 0
 4 C 1 6 7

審査請求 未請求 請求項の数10 ○ L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願2001-310450(P2001-310450)

(71)出願人 000153041

(22)出願日 平成13年10月5日(2001.10.5)

株式会社日本メディックス
千葉県松戸市南花島向町315番地1(72)発明者 長谷部 一成
千葉県松戸市南花島向町315-1 株式会
社日本メディックス内(74)代理人 100080768
弁理士 村田 実

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 加熱式バルーンカテーテル装置およびその加熱方法

(57)【要約】

【課題】バルーンを全体的に均一に加熱できるようにす
る。

【解決手段】カテーテル本体1の先端部に取付けたバル
ーン2内に、高周波加熱電極3と温度センサ4が配設さ
れる。肺静脈口1 2 aにバルーン2が当接された状態
で、電極3によってバルーン2内の加熱用液体を加熱す
ることにより、肺静脈口1 2 aが環状に焼灼される。カ
テーテル本体1の基端部に接続されたコネクタ20には、
リザーバ41が接続される。リザーバ41のダイヤ
フラム42をモータ43によって往復駆動することによ
って、リザーバ41内の加熱用液体が震動され、この震
動が、コネクタ20内の加熱用液体およびカテーテル本
体1内の加熱用液体を介して、バルーン2内の加熱用液
体に伝達される。加熱用電極3で加熱された高温の加熱
用液体は、上昇してバルーン2の上部に集まろうする
が、バルーン2内の加熱用液体が震動によって搅拌され
るために、バルーン2が全体的に均一に加熱される。

